



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

THE Y'S MEN'S CLUB OF NARA

C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERED SEPT. 14TH. 1950

ホームページ: <http://uchidakaikai.com/narawaizu/index.htm>

国際会長 主題: 信念のあるミッション(使命・目標) Mission with Faith

アジア会長 主題: 愛をもって奉仕をしよう Through Love, Serve

西日本区理事 主題: あなたならできる! きっとできる

阪和部長 主題: とともに歩もう。前へ!! Let's go together, GO GO!!

会長: 太村 孝江

副会長: 前田 敏宏

書記: 佐々木 高田

会計: 平井 高井

直前会長: 内田 勝久

次期会長: 前田 敏宏

ネット会長: 杉浦 文子

**12月
2015年**

ブリテン編集委員

内田 勝久

佐々木 みどり

辻野 啓一

平井 洋三

クラブ会長標語: 「奈良は熱いぜ! 声たからかに
Let's go together Go. Go. Go!!」

12月 例会

とき 2015年12月13日(日) 17:00~17:30
ところ YMCAチャペル
<プログラム> 司会 太村 孝江ウイメン

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]
2. 開会点鐘 会長
3. ワイズソング
4. 聖書・祈祷
5. ゲスト・ビジター紹介
6. 誕生日・結婚記念日のお祝い
7. インフォメーション
8. YMCAの歌
9. 閉会点鐘 会長



[月刊強調テーマ]

EMC - E
YES

[今月の聖句]

「わたしたちの神よ、彼らをお裁きにならないのですか。わたしたちには、攻めて来るこの大軍を迎え撃つ力はなく、何をなすべきか分からず、ただあなたを仰ぐことしかできません。」歴代誌下20:12

日本聖公会奈良基督教会 井田 泉 牧師

ユダの王ヨシャファトは敵の大軍を見て恐怖に襲われ、主を求めることを決意して祈りました。まったく無力となって神を仰ぐしかなかったのです。ユダのすべての人々が共に主の前に立って祈りました。そのとき、主が立ち上がって彼らを救われました。無力な赤ちゃんの姿でおいでになった神の子は、私たちが力への固執から解放し、私たちに謙遜な祈りへと招きます。

2015年11月クラブ統計

在籍会員	23名	コメント	0名	ニコニコ献金 11月度: 14,646円 累計: 267,254円
例会出席	20名	ゲスト	8名	
(うちメーキャップ4名)		ビジター	2名	
メネット	9名	出席率	86.4%	



出席第一・親睦・協力奉仕

例会 12月13日(日) 17:00~17:30 奈良YMCA
役員会 12月21日(月) 19:00~21:00 奈良YMCA

会長通信

会長 太村 孝江
「フラ フラ」



東北復興応援ツアーに参加した。この参加につき、私は本来のツアーの目的以外に意図的に自分の仕事を入れて、1週間ほど時間を作り、車を走らせ日常生活と離れたところに自分を追いつめてみようかと計画した。

これからの人生(?)のことをいろいろ考えてみたかったからだ。結局なにも見えなかったけれど・・・。

今回、広島・名古屋・東京・仙台と往復2,000km以上は走ったと思う。途中、紅葉を見、あちこちのパーキングでは、あふれるばかりのトラックに驚愕し、これが日本経済を支えている根幹かと思ひ、東京では、確かに大阪は、一地方都市に過ぎないと、妙に納得したり・・・。いろいろ感じる事がいっぱいありそれなりに面白かったけれど、やはりフラフラ足元が落ち着かない自分がそこにいた。

仙台では、仙台YMCAの村井総主事はじめYMCAの皆様が出迎えてくださり、車であちこち現地を案内して下さり“被災地の今”を見せていただいた。

今回の訪問で、YMCAの方と地元の人達との表情とあの確固たる繋がりを見ていると、ボランティアと言うことが、どういうことかと言うことを本当に教えていただいた気がした。

この難しい時代に、子供も我々高齢者もいずれも今を、いかに生きるかと言うことを問われていると思う。いずれも人との繋がり大切さを学び、いかに自分を自然に表現できるかと言うことだと思ふ。

わかっている、それでも足がフラフラして落ち着かない私が、ここにいる。



11月例会

太村会長が所属しておられる興隆会のみなさんと居合いと空手の一部を披露していただきました



空手古武道 憲武会会長
吉田又弘様
興味深いお話と実技有難うございました

今回の日本人のノーベル賞受賞時に思ったこと

辻野 啓一



2015年のノーベル物理学賞に、東京大学宇宙線研究所・梶田隆章所長が選ばれました。梶田教授は、物質の基本単位である素粒子の一つ「ニュートリノ」に質量があることを世界で初めて観測によって証明し、それまでの物理学の定説を覆したことが高く評価されています。

10月5日の大村智・北里大学特別荣誉教授のノーベル医学・生理学賞に続く、受賞決定です。岐阜県の神岡鉱山跡に建設された研究施設の装置、スーパーカミオカンデを使った研究の成果が認められました。

自分の知人でもないし、もちろん自分の手柄でもないのに日本人が受賞するとなんとなく嬉しくなるのは私だけではないでしょう。この感情の是非をいろいろ言う人もおられるようですがその点については今回は横に置いておくとして。

受賞時の報道については、報道機関も、めでたいことですからケチをつけていると誤解されるような報道をし難いのも分からないでもないですが、何にでもいちゃもんをつける朝日でさえ手放しで喜んでいるだけの記事しか見ませんでした。(あればごめんなさい)

今回、受賞と同時に報道して欲しかった事のひとつは研究環境についてです。民主党政権時の「仕分け」は論外にしても最近の研究予算が厳しく、速く結果を出さなければ、というプレッシャーが2~30年前より強いと多くの研究者が感じています。別にノーベル賞のために研究するのではないでしょうけれど時間とお金がかかり、何の役に立つのか説明し難い基礎的研究は以前よりやり難くなっています。限りある税収から、長い時間を要する研究に税金を投入する事に対して、報道には、こういう機会に国民に理解を呼びかけて欲しかった。

もうひとつは、スーパーカミオカンデを含む東京大学宇宙線研究所がある神岡鉱山の事です。神岡鉱山と言えば私の年代では真っ先に思い当たるのが、この鉱山の垂鉛鉱石に含まれていたカドミウムによって神通川下流域に引き起こした大規模な公害病である「イタイタイ病」の事です。神岡鉱山から排出されたカドミウムが神通川に流出し広範な下流域が汚染されました。その地域で産出した米を通じてカドミウムが農村の方の体内に蓄積し発症しました。骨がもろくなって布団をかぶせただけで骨折し「痛い痛い」と言って死に至ることからこのように呼ばれた病気です。

このような事を繰り返さないように「イタイタイ病」に関する報道が欲しかったです。ちょうどカミオカンデの名前が多くの人知るところになり、神岡鉱山の事も唐突ではなく話題に出来る、またとない環境でした。4大公害は、福島のことと同様われわれが忘れてはならない事ですから。多くの人改めて、公害のことを思い起こすきっかけになるのなら、スーパーカミオカンデもより存在価値が増す気がするのです。

観光立県「奈良県」

高橋 辰夫



お伊勢参り講が流行った時代から奈良は旅の要衝として多くの旅人が訪れました。そして旅の名目が巡礼であったことから東大寺をはじめとして奈良に在る多数の寺社仏閣に大勢の人が訪れました。時代が流れいつしか奈良が修学旅行のメッカと呼ばれて久しくなります。この頃から奈良に「大仏商法」の気質が定着したものだと思います。(※大仏商法＝顧客誘致の努力をしなくても東大寺参拝客が利益を与えてくれるという姿勢)

しかしバブルの頃から修学旅行のメッカは奈良ではなくて北海道や沖縄、東京ディズニーランドに取って代わられてしまいました。それに伴って観光立県であるはずの奈良の修学旅行客がどんどん減っていきました。修学旅行客が減ると一番困るのが奈良の宿泊施設です。施設の維持ができなくて軒並み廃業や商売替えが続きました。

景気が悪い冬の時代から徐々に回復基調にある昨今。修学旅行客も徐々に増えて来、それに加えて一昨年に奈良が国の観光特区に採用されてから、日本全国で奈良が注目されるようになり、奈良への観光客が急増しています。ここで宿泊施設の受入れ数が少ない事と、飲食施設の営業時間が短いことが主な原因で、せっかく奈良に観光客を誘致できても経済効果はマイナス成長しています。つい先日まで国内において奈良県の宿泊受入数は47番だったのが、民間のゲストハウス(簡易宿泊施設)の設置が増えたおかげで国内の最下位から脱したものの奈良の観光客数から比べたらまだまだ足りていません。

そのゲストハウスが増えたおかげで低料金で宿泊を求める来日の外国人の奈良での宿泊客もどんどん増えています。私の友人のゲストハウスのオーナーは稼働率80%前後でその9割が外国人だそうです。このチャンスに奈良県内のアチコチで「脱大仏商法」を目指して観光客をどのようにおもてなしするかを考えるグループが芽を出し始めています。

私もいくつかの会合に参加していますが、いずれも古きを伝える年配の方から新しく切り開く若者までが参加して、機能的に融合しています。近い将来、県や市の主導から民間主導の観光立県に官公庁がサポートに回る理想の型が形成される機運です。

また、太古の昔から奈良は世界の玄関口として外国からの文化を受け入れ日本に広めてきました。近代になって発展した各国の文化との融合はもとより、外国から吸収した文化をもって独特に発展した日本文化の海外への流布が世界から注目され、求められています。私も学生の頃、外国で生活していた経験がありますが、日本はとっっても平和な国民性をもった国だと思います。その国民性が世界に理解され、日本の常識が世界の常識になれば、世界各地で行われているテロや紛争が減り、平和な世界が来るのではないかと想い、日々の生業である旅行業に勤しんでいます。



メネットコーナー

「阪和部東北復興応援ツアー参加報告」

林 夏代

11月14日(土)、15日(日)と「阪和部東北復興応援ツアー」に参加致しました。阪和部から参加者12名のツアーで、奈良クラブメネットの参加は林 成子、林 夏代メネットでした。2日間仙台YMCAのバスで村井総理事様、斉藤様の運転、そして青葉城ワイズ清水様のガイドで案内して頂きました。14日朝10時に仙台YMCAを出発、福島県浪江町原発ギリギリ行ける地点迄走って下さり帰還困難地域を見て、震災直後から町全体時間が止まっているのを実感しました。また地域全体が津波で無くなり1000人近くの犠牲者が出た名取市閑上地区、ここは全く復興が進んでいないとの事でした。夜は仙台3ワイズとの交流があり楽しいひと時を過ごしました。2日目は南三陸町の「防災対策庁舎跡」や児童や教師が大勢亡くなられた「大川小学校跡」等を視察いたしました。最後に雄勝町名振地区に「津波の教え石」の石碑建設予定地を案内して頂きました。この地域は昔から「地震が起こればすぐ高いところに逃げろ」と言う教えがあり「お陰で二人の犠牲者が出ただけ」だと自治会長様から説明がありました。2年前に奈良クラブメネット5人で被災地を訪れています、その時とあまり状況が変わってないと感じました。バスの中から見た風景が土盛りした丘のようなものがボコボコあり、また汚染土の入った黒いビニール袋が沢山並んでいるのが印象的でした。2日間にわたり村井様、斉藤様、清水様に変にお世話になり有難うございました。



仙台YMCA玄関前で



11月例会

メネット手作りのおもちゃとクリスマスカードをあきしの保育園のこどもたちにプレゼント
メリークリスマス!!

11月例会報告 中井 信一

YMCAあきしの保育園に会場を移して2回目の例会開催でした。いつものビジター、松岡メン、今井ウィメンとゲストの仲間皆様8名を含む、35名の賑やかな例会となりました。

太村会長の仲間、日本居合道林派無外流 空手古武道 憲武会会長 吉田又弘様の本業の螺子を含む、楽しい卓話をお聞きました。お仲間の寫茂治様より健康長寿の有意義なお話も頂きました。

その後は、園庭にて武道の実演も行われました。太村会長も凛々しく格好良かったですね。

次にメネット会杉浦会長より保育園に手作りのクリスマスプレゼントを金子園長に贈呈して頂きました。

最後に岩本メンが毎年手配を頂いています「十勝ワイズメンズクラブ ジャガイモファン」の搬入販売も実施して頂きました。内容盛り沢山で、皆さん笑顔で閉会致しました。

YMCAだより11月号

連絡主事 田中 幸一



教会ではキリストの到来を待ち望むアドベントを迎え、奈良YMCAの各クラスでも順次クリスマスのお祝いが行われています。今年度は障がいをもつ子どもたちのクラスのメンバーへ、メネット会の皆様からのうれしい手作りカードのプレゼントを頂きました。ありがとうございます。スタッフ・リーダーを通して一人一人に手渡して参ります。

さて、11月8日(日)には奈良市内や生駒駅など11箇所、国際協力街頭募金を実施させていただきました。当日は雨の降る寒い中でしたが、子どもたち134人と奈良ワイズメンズクラブの皆様を含め大人34人のご協力を得ることができ、303,480円の募金をお寄せ頂きました。心より感謝申し上げます。この国際協力募金キャンペーンは1月末まで引き続き継続いたします。世界中の紛争や自然災害で困難の中にいらっしゃる方々、東日本大震災をはじめ国内の自然災害による被災者の方々への継続的な支援として、国内外の各地のYMCAを通して大切に用いさせていただきますので、引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、この2015年は皆様にとってどのような1年でしたでしょうか？奈良YMCAにとりましては、奈良ワイズメンズクラブの皆様、国際協会西日本区、阪和部の皆様をはじめ多くの方々のお力添えのもと、保育園を開園することができました。この素晴らしい変化は2016年以降の奈良YMCAの、この地域での働きを一層強める大きな礎となっています。どうぞ皆様にとりまして、これから迎える2016年も素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



国際協力街頭募金

11月役員会報告

11月24日(火) 奈良YMCAチャペル 19:00~


- 12月例会 12月13日(日)17:00~17:30
チャペル 司会 太村孝江
X'mas会18:00~20:00 体育館 司会 田中幸一
- 1月例会 1月11日(月) 成人の日 百楽 17:30~20:00
新年会 司会 高田嘉昭
オークション
- 2月例会 2月8日(月)19:00~21:00
あきしの保育園 司会 高井亮吉
「ワインの話」 磯崎様 (御夫婦)

(その他)


- 阪和部新年合同例会 1月9日(土)
たかつガーデン 12:00~15:00 6,000円
- 御殿場(東山荘)へのクラブからの募金について
- YMCAから「YMCAブランディング・イメージ調査」お願いの件
- 次期阪和部EMC主査選出の件

12月 誕生・結婚記念日

HAPPY BIRTHDAY

- 5日 林 成子 
- 9日 平井 洋三
- 12日 高井 佳世
- 22日 黒田 幸司
- 23日 平井 尚子

WEDDING ANNIVERSARY

- 3日 林 秀彦・成子
- 6日 林 佑幸・夏代 
- 12日 高井 亮吉・佳世

12月の行事予定

日	曜日	行事内容
1	火	大阪サウスクラブ例会
2	水	大阪堺・大阪長野クラブ合同例会
5	土	和歌山紀の川クラブ例会
13	日	奈良クラブ例会、ジョイフルクリスマス
17	木	和歌山クラブ・大阪河内クラブ例会
18	金	西日本区大会実行委員会
21	月	奈良クラブ役員会
24	木	大阪泉北クラブ例会

Merry X'mas

